

「長岡方式の避難行動」策定と洪水ハザードマップ改定について

信濃川が観測史上最高の水位に達するなど、大きな被害をもたらした昨年10月の台風第19号。その教訓を踏まえ、信濃川の氾濫の危険性を視野に入れ、水害から市民の命を守るため「長岡方式の避難行動」をまとめました。

また、市民一人ひとりに長岡方式の避難行動を理解いただくとともに、命を守るための適切な避難行動の設定を促す「洪水ハザードマップ」の改定を行いました。

市では、市民の逃げ遅れゼロを目指し、様々な防災対策を積極的に推進します。

1 長岡方式の避難行動

大規模水害では市の避難場所で全ての市民を受け入れられないこと、想定浸水深によっては屋内での安全確保が有効であることなどを踏まえ、市の避難施設への避難のほか、自宅内や車移動などの避難行動を優先的な選択肢として明示

① まずは「自宅の上の階に避難」または「浸水しない場所へ車などで避難」

② ①ができない場合に「市が開設する避難場所※へ避難」

☛それぞれの家の特徴や区域の危険性等を踏まえた自らの判断と行動を促す

※洪水などの際に緊急的に安全を確保するための一時的な避難施設。家屋の被害などにより避難が長期化する場合は所謂「避難所」に移行する。

※あらかじめ避難者の分散を促すことで、市の避難場所において新型コロナウイルス感染症の拡大の原因となる「密」を低減。

2 洪水ハザードマップ改定版

(1) 改定のポイント

①最大規模の降雨の想定に基づき作成（これまでは計画規模）

②「長岡方式の避難行動」の説明、避難行動チェックシートを掲載

③自ら判断して自ら行動するための情報を具体的に掲載

○避難を判断するための情報と取るべき行動 ○市の避難施設

○情報の伝わり方、受け取り方 ○自助、共助のポイント など

④その他新たな取り組み

○信濃川早期警戒情報の発信

○電話配信サービスの導入

○防災ホームページの強化（ヤフーと連携しアクセス集中に対応）

(2) 発行日 6月1日(月)

(3) 発行部数 137,000部(地域別に6種類作成)

(4) 配布方法等

○山古志地域を除く市内約10万8千世帯に市政だより6月号と合わせて配布

○希望者に対しては、アオーレ長岡、各支所等で配布

○「ながおか防災ホームページ」に電子データを掲載

URL : <https://www.bousai.city.nagaoka.niigata.jp/>

○「ながおか便利地図」に電子地図を掲載予定

URL : <https://www2.wagmap.jp/nagaoka/>

〔 問い合わせ：危機管理防災本部 電話0258-39-2262 〕